

お知らせ

**海技研、港空研が Techno-Ocean2025 に参加・出展しました。（結果報告）**

令和 7 年 11 月 27 日～29 日の 3 日間、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所は、神戸国際展示場（兵庫・神戸）で開催された国際海事展「Techno-Ocean2025」に参加・出展しました。展示等を通じて、海事、港湾関係の皆様、学生の皆様に各研究所の研究内容について高い関心を持っていただきました。

**【海技研の主な展示内容】**

展示ブースにおいて「洋上風力発電プロジェクトチームの取り組み」、「AUV 等海洋無人機を利用した次世代の海洋開発」、「海底鉱物資源開発のための開発支援プログラム」、「海技研の施設」について紹介を行い、加えて、AUV 模型の展示を行いました。

**【海技研のパネルセッション】**

11 月 27 日（木）13：00～16：15 から、「海運 GX の今とこれから」について、平田 宏一 所長がモデレーターとして参加しました。

11 月 28 日（金）13：00-17：00 から、「日本の資源・エネルギー開発に資する海洋ロボティクス」について、藤原 敏文 研究統括監がモデレーターとして参加しました。  
また、「環境モニタリング・資源探査に資する AUV 開発」について講演を行いました。

**【海技研の出展者プレゼンテーション】**

11 月 27 日（木）14:50～15:05 から「自律型水中ロボット群による海洋調査システム」について、海洋先端技術系 水中ロボティクス研究グループ 佐藤 匠 主任研究員が講演を行いました。

**【港空研の主な展示内容】**

展示ブースにおいて「ブルーカーボンに関する研究」、「マルチビームソナークラウドに関する研究」、「兵庫県南部地震の港湾被害がもたらした教訓」について紹介するとともに、「栈橋上部工点検診断支援システム」の動画紹介及び港湾と沿岸の情報拠点「UMI-POCHI」の紹介を行いました。

**【港空研の出展者プレゼンテーション】**

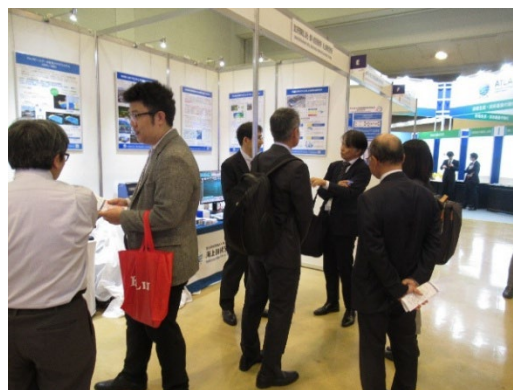
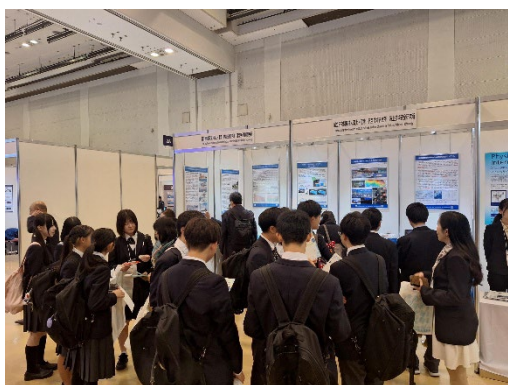
11 月 28 日（金）11:50～12:05 に「世界に貢献できる技術を目指してー港湾空港技術研究所の紹介」について、野津 厚 特別研究主幹が講演を行いました。



テープカットセレモニーの様子  
(庄司理事長が参加)



展示ブース  
(左：港空研、右：海技研)



展示ブースの様子



出展者プレゼンテーションの様子 (左：海技研、右：港空研)